



27 ロープワーク

青森県立種差少年自然の家



○活動の概要○

ロープワークの技術を学び、飾り結びを作品にします。

1 ねらい

災害時や野外活動に役立つロープワーク技術を習得し、日常生活で活用しながら防災意識を高めさせます。

(小学校 防災教育 中学校 防災教育)

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 どこでも可 40人程度
- ② 期間 通年
- ③ 時間 1～2時間

3 職員の支援について

ロープの貸出しと技術の指導を職員が行います。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	・特になし	
個人		
自然の家	・用具一式 (参加者用ロープ、指導用ロープ、ラミネート資料) ・瞬間接着剤	飾り結びセット 1セット 65円 (カラビナ1個、ひも1本) 参加者用実習ロープ 細 27本 太 21本

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 班ごとに集合
- ② ロープの準備とロープワークの説明
- ③ 実習・飾り結びのアクセサリーづくり
- ④ 片づけ・まとめ



あげまき結び

役立つロープワーク

種差少年自然の家

1. 普段の生活、キャンプで使える、自分の命を守る

2. ロープは摩擦で効果を発揮する

ロープ、糸、帯、釣り糸、縄

ブレイクスヒッチ

釣りをする人、木に登る人、船に乗る人、荷物を運ぶ人 それぞれで結びの呼び方

3. ノットとヒッチ

ものを縛る、つなぎ合わせる → ノット

他のものに結びつける → ヒッチ



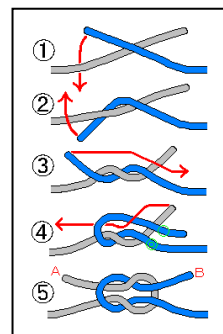
4. 実践

【もやい結び】・・・最強の結び

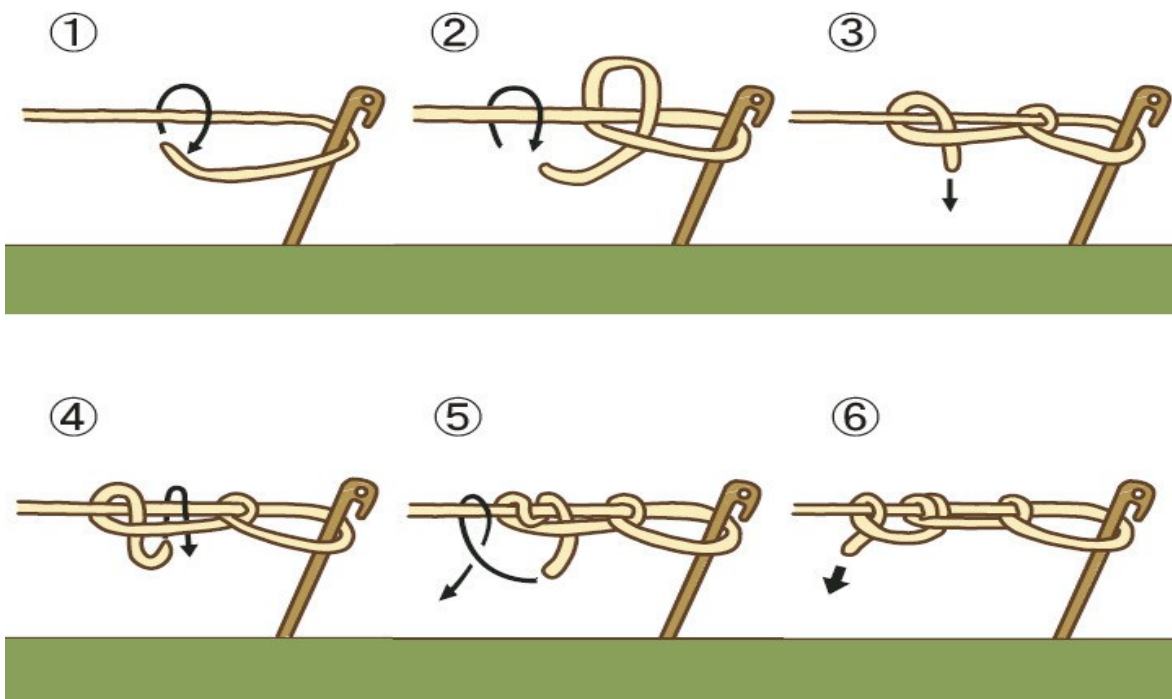
自分をしばってみよう!

【本結び (リーフノット)】・・・互いに締め合う

結び方がおかしいとほどけやすい やってみる



【自在結び】



生きていく上でこんな事があるかも、、、

自然災害が多い 地震、津波、大雨、台風 自然の猛威には勝てない

これからは、自分の身を守る（命を最優先に）事を考えて生きていかなければならない



結び 一部紹介

・ オーバーハンドノット

- ・ 結び目ができるだけ
- ・ ほどくの面倒

・ エイトノット

- ・ 止め結びより大きな結び

・ 引きとけ結び

・ クローブヒッチ

- ・ その位置でロープが留まる
- ・ ギターの弦を巻く時

・ バタフライノット

- 「結びやすい」
- 「強度がある」
- 「ほどきやすい」

《インターネットより参照》